

G

ECS NEWS

編集・発行人/高橋 進 発行所/株式会社 三誠ジーエクスニュース事務局 本社〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-3箱崎公園ビル7F
TEL: 03-3639-5226 FAX: 03-3639-8162 ホームページ <http://www.sansei-inc.co.jp>

2007 January Vol. 1

ジー・エクス
ニュース
創刊号

二〇〇七年新春より毎号、 先進杭基礎工法「G・ECS PILE」と、 業界のフレッシュな情報をお届けしてまいります。

三誠の技術へのこだわり。
その象徴がG-ECS PILE。

弊社が長年にわたり培ってきた技術力とノウハウの一つの結晶。それがG-ECS PILEです。二〇〇四年の誕生以来、この新時代の工法は、さまざまな現場の杭基礎施工において着実に実績を重ねております。



G-ECS PILEには、多くのユーザーにご支持いただいている特長があります。

周囲摩擦力を考慮しなくても、十分対応可能な「強力な先端支持力」。低騒音・低振動かつ、排出土を出さない「環境への配慮」。施工機械の小型化、パイル先端部の単純化による「コストダウン」。徹底した施工管理、安定した杭材などあらゆる面で品質を追求し、国土交通大臣認定基準をクリアした「高い信頼性」。屋内や狭い現場などでの施工を可能にする「多様な施工条件対応」。

これらのメリットが有機的に絡み合うことで、いままでの杭基礎施工が

抱えていたあらゆる課題を克服し、現場のニーズに応えることが可能になりました。

二〇〇七年を迎え気持ちも新たに、G-ECS NEWSをお届けします。

改めまして、あけましておめでとうございます。

二〇〇六年は公共工事の減少や入札方式の変化によって大手ゼネコンとそれ以外の間でシエラ格差が顕著になるなど、建設業界にとって厳しい年でした。そうした状況下でありながら、弊社は新商品が市場ニーズに対応したことで、業績を伸ばす事ができました。中小企業でありながらオンラインライズされた国土交通大臣の認定をもち、なおかつ開発した技術者自身がユーザーに直接説明を行う弊社の姿勢が評価された結果



新商品の追加認定書

果と自負しております。二〇〇七年は、「俊敏」を合言葉に、計画から施工までこれまで以上にスピーディな対応を心がけ、大企業にはない小回りの良さを活かしてお客様のニーズに添えてまいります。また、G-ECS PILEをはじめとする回転圧入鋼管杭のもつコストやエコロジー面のメリットを広め、多くの皆様に選択肢の一つとして回転圧入鋼管杭を検討していただけるよう、普及に努めてまいります。このG-ECS NEWSもその試みの一つです。

「杭基礎で環境保全に貢献する」それが三誠の姿勢。



「安全と環境への配慮」は、21世紀の企業すべてに課せられた義務です。会社は社会の一部であると理解し、社会への使命と役割を果たす中で、結果として利益を得るという姿勢が求められています。私たち三誠は地球の大地と直接関わる事業を展開する者として、次世代のために土地の有効性を維持するという視点で技術開発を行っています。もはや高度成長の時代のように「建ててしまえばそれでいい」という考え方は通用しません。時を経て建て替えるを迎えたいとき、杭を抜いて元の状態に回復できるように、撤去しやすくてコスト面でも使っていただきやすい製品を提供していくことが責務と考えています。将来は、地中に残った杭の再利用まで視野に入れていきたい。「杭基礎で環境保全に貢献する」それが三誠の姿勢です。

MONTHLY Topics

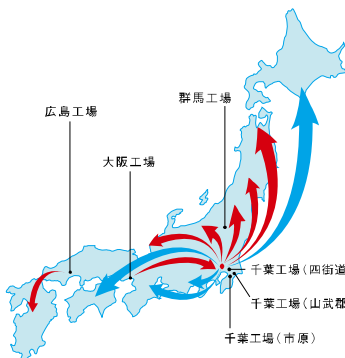
今月のトピックス

新鋭工場稼働開始

昨年10月より群馬県邑楽郡の新工場でG-ECS PILEの製作を開始致しました。新潟、北関東を中心に供給を行う予定です。工場設備についても順次、充実させる計画です。既に稼働中の関東3工場、大阪1工場、広島1工場を含め、主要都市及び地方中核都市への供給体制が整いつつあります。材料の供給が皆様に迷惑をおかけ致しましたが、今後は緩和される見通しです。

拡大する販売 territories

G-ECS PILE発売開始以来、北は青森県から南は熊本県まで全国1都1府17県の地域で、1年間に約1000件の施工実績を上げることが出来ました。経営5ヶ年計画の4年目に当たる本年は北関東の強化を図り、施工機も昨年にDERTONクラスが3台、今年にはDERTONクラスが2台加わり増やされますので、関東以北の施工能力が倍増されます。今年度はさらに758県の地域へ拡大を予定しております。



G-ECS PILE. さまざまな条件下で、最良のソリューションとして採用されています。

G-ECSパイル

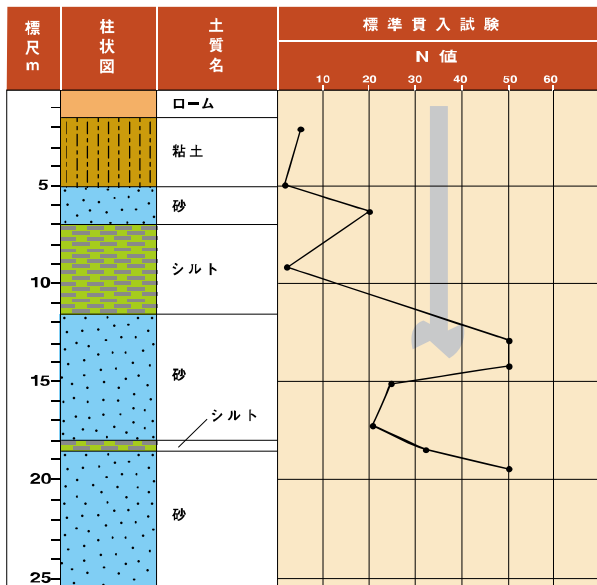
茨城県複合商業施設増築工事

借地終了後の現状復帰への有利さからG-ECSパイルを採用。本物件の採用に当っては、15年の借地に賃貸施設を建築するという条件があり、地主に対し15年後の契約満期時に土地を現状復帰させる必要があった。その際、コンクリート杭等を使用した場合杭の引抜き費用が一億円超にも登ることから、引抜コストを半減させることが可能との理由で回転鋼管杭G-ECSパイル工法を採用されました。

【施工年月:平成17年4月】



ボーリング柱状図



建物概要

名称	茨城県複合商業施設増築工事	杭の種類	G-ECSパイル
施工場所	茨城県つくば市	杭の仕様	φ165.2 t=7.1mm L=11m (6+5) 450セット
用途	商業施設	施工期間	平成17年3月24日～平成17年4月2日
構造・階数	S造3階	先端N値	50
延床面積		設計支持力	333.96kN
高さ		杭先端深度	GL-12.2m
施工法	G-ECSパイル工法【大臣認定工法】	先端支持層	砂層

ECSパイル

東京都内公園擁壁等整備工事

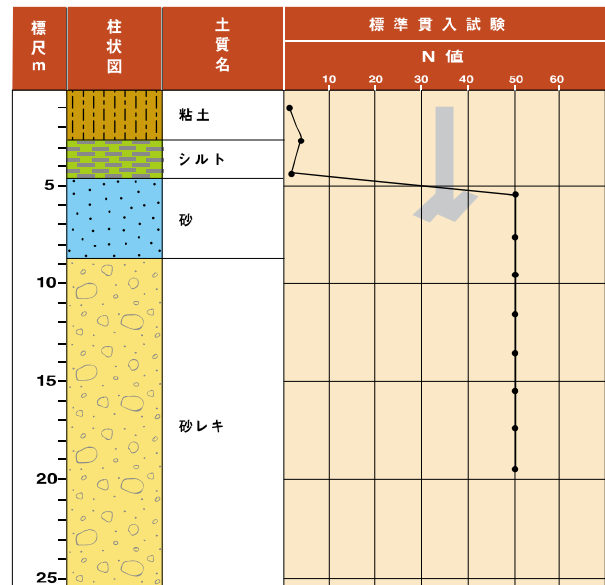
狭路の上通行量が多い地区の物件。

本物件は、東京都文京区における擁壁工事です。お堀端の散策歩道沿いの山手側に擁壁を設けるものです。樹木の多い地域であるため、材料置場や材料搬入路及び施工に留意する必要がありました。特に周辺住民への配慮から、小型施工機による低騒音工事及び、工期短縮が可能な本工法が採用されました。

【施工年月:平成15年12月】



ボーリング柱状図



建物概要

名称	東京都内公園擁壁等整備工事	杭の種類	ECSパイル
施工場所	東京都文京区	杭の仕様	φ165.2 t=7.1mm L=4m(3+1) 84セット
用途	公共工事	施工期間	平成15年12月2日～平成15年12月16日
施工主	東京都	先端N値	30
構造・階数	擁壁工事	設計支持力	144.45kN
擁壁延長	70m	杭先端深度	GL-5.0m
施工法	ECSパイル工法【大臣認定工法】	先端支持層	砂層

株式会社 三誠
SANSEI INC.

本社 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-3 箱崎公園ビル7F TEL: 03-3639-5226 FAX: 03-3639-8162
 茨城営業所 〒319-0102 茨城県小美玉市西郷地1103 TEL: 0299-36-7170 FAX: 0299-48-0025
 新潟営業所 〒950-0914 新潟県新潟市紫竹山3-9-1 インター紫竹山ビル3F TEL: 025-242-2180 FAX: 025-242-2183
 ホームページ: <http://www.sansei-inc.co.jp> メールアドレス: info@sansei-inc.co.jp

お問い合わせは、メール info@sansei-inc.co.jp または、FAX 03-3639-8162 (担当 内田)まで。